

令和2年度 第72回日本ハンドボール選手権大会(女子の部)

戦況票

- 大会日 2020年12月23日 (水)
- 会場: いしかわ総合スポーツセンター 府県名(石川県)
- ディビジョン: 女子 ○ 試合コード: キ
- スコア:

大阪ラヴィッツ 24 ($\begin{matrix} 10 & - & 11 \\ 14 & - & 9 \end{matrix}$) 20 霧島市立
国分中央高等学校

- 見出し:

選手層の厚い大阪が初戦を飾る。

- 特記事項:

立ち上がりはお互いを探り合うようなスローな展開だったが、先手を取ったのは国分中央高。岩元のミドルや恒吉のポストなどで、若手主体の大阪ディフェンスを効果的に攻め、9分には5-1と試合の主導権を握る。国分中央はその後も岩元や川島のミドルなどで攻めるが、徐々に足が止まってくる。18分過ぎ、大阪は4-8から喜田、笠松らの4連打で8-8の同点に追いつく。一度は逆転した大阪だったが、のびのびプレーする国分中央が岩元、前屋敷の連打で再逆転に成功して前半を終了する。

後半に入ると再び大阪がペースを掴み、厳しいディフェンスから喜田のミドルなどで3連取するが、国分中央も粘り、相手退場を機に9分過ぎに13-13の同点に追いつくと、シーソーゲームの展開となる。15分過ぎから大阪は川崎、古川、さらには藤井といったベテランを投入、試合を決めにかかる。しかし、一歩も引かない国分中央は22分に22-22の同点に追いつく。どちらに転ぶか分からない中、試合の流れを引き寄せたのはベテラン藤井。半ば強引なカットインで7mスローを獲得したり、自らゴールを決めるなど、一気に大阪が活気付き、29分半には24-19と5点差をつけて勝負を決めた。大健闘の国分中央高だったが、勝負所でノーマークを大阪GK・泉にシャットアウトされたのが響いた。

(記入者氏名: 津島 正司)